公立大学法人熊本県立大学　第4期中期目標（案）【　体系図　】

資料１－３

基　本　目　標

- 地域社会を担う人材育成の拠点としての大学
- 地域社会の発展に貢献する知的創造拠点としての大学
- 地域社会における学習・交流の拠点としての大学

重　点　目　標

- （１）教育の質の向上
- （２）大規模自然災害からの復興支援を含めた地域社会の発展に貢献する教育研究の推進
- （３）グローバル化の推進

Ⅰ　大学の教育研究等の質の向上に関する目標

１　教育に関する目標

人材育成

＜学士課程教育＞

論理的な思考かつグローバルな視点で自ら課題を抽出・分析し、創造的解決策の提示及び総合的判断ができる人材

積極性、自律性及び行動力を身につけ、社会状況の変化に柔軟に対応できる人材

地域課題の解決に向けた意欲と国際社会に興味・関心を持ち、性別、年齢、人種や国籍、障害の有無等の多様性を認め、持続可能な社会の構築に貢献することができる人材

コミュニケーション能力を持ち、協調性があり、社会において人的ネットワークを形成できる人材

高い職業観を持ち、持続可能な社会の構築に向け、主体的に自らの職業人生を構想・設計できる人材

＜大学院教育＞

国内外の諸課題の発見・解決のために専門的知識や研究能力を応用できる人材。博士後期課程においては自立して研究を遂行できる人材

(1)　入学者受入れに関する目標

①入学者受入れ方針に基づく選抜方法の工夫、多様な学生の確保、外国人留学生等の増加

②大学院における多様な人材の受入れ推進

(2)　教育内容・方法等に関する目標

①社会の要請に合わせた教育内容・方法等の質的向上、学生の視点に立った教育の実現

②創造的復興及び防災・減災に関する教育の推進、地域課題解決に取り組む実践的・総合的な教育の充実

③実践的な学びを通した外国語能力の向上、地域社会の変容も踏まえた異文化理解及び多文化共生の促進に向けた教育の充実

④教員の能力向上

⑤教育実施体制の整備

２　研究に関する目標

(1)　研究の方向に関する目標

独自性のある研究及び地域課題解決に役立つ研究の推進、創造的復興及び防災・減災に関する研究の推進

(2)　研究の支援に関する目標

組織的な研究支援の促進

３　地域貢献に関する目標

(1)　官民連携によるシンクタンク機能の充実・強化（DX推進の取組等）

(2)　地域産業に関する共同研究等及び研究成果を地域社会に活用

(3)　生涯学習と専門職業人の継続的職業能力開発支援の充実

４　国際交流に関する目標

(1)　地域社会の変容も踏まえた学生の国際交流の更なる推進

(2)　外国人留学生・海外協定校からの学生等の更なる受入れ促進（情報発信や受入体制の充実）

(3)　諸外国の大学等との研究者交流・共同研究等の推進

５　学生支援に関する目標

(1)　学生のボランティア活動、課外活動の活性化と支援

(2)　地域企業や地域社会と連携したキャリア教育の推進

(3)　地域産業界と協働した県内への就職の促進

(4)　学生への経済的支援の充実

(5)　学生の心身の健康に関する相談・支援

Ⅱ　業務運営の改善・効率化に関する目標

１　大学運営の改善に関する目標

柔軟かつ機動的な大学運営の推進

２　教育研究組織のあり方に関する目標

教育研究組織のあり方について不断に検討、適切に見直し

３　人事に関する目標

性別、年齢等にかかわらず能力が最大限発揮できる機会の構築のための適正な人事・評価の実施

４　事務等の効率化・合理化に関する目標

事務の簡素化・合理化を進め、DX推進等により効率的に事務処理

Ⅲ　財務内容の改善に関する目標

１　自己収入の増加に関する目標

授業料や外部教育研究資金等の自己収入の確保

２　経費の抑制に関する目標

効率的な運営による経費の抑制

Ⅳ　自己点検・評価及び情報提供に関する目標

１　評価の充実に関する目標

組織的なマネジメントサイクルの着実な運用

２　情報公開、情報発信等の推進に関する目標

DXの進展も踏まえつつ、積極的な情報公開・発信による大学の認知度向上

Ⅴ　その他業務運営に関する重要目標

１　施設設備の整備・活用等に関する目標

施設設備の適正な維持管理・計画的な整備改修、有効活用の推進

２　安全管理に関する目標

(1)　情報管理・リスク管理の徹底

(2)　防災対策の強化

(3)　教職員の心身の健康保持増進、快適な職場環境の形成促進

３　人権に関する目標

人権尊重に関する啓発の推進